

日本における経皮的冠動脈インターベンション(PCI)および
冠動脈バイパス手術(CABG)のレジストリー(コホートII)

Japanese Registry of PCI and CABG in Coronary Artery Disease-II ----- 5年間の追跡調査 -----
ST上昇型急性心筋梗塞症例における急性期心電図所見と予後との関係解析

1. 概要

本研究は、CREDO-Kyoto Cohort II Registry 登録症例(2005年1月~2007年12月)のうち、冠インターベンション(Primary Percutaneous Coronary Intervention)を施行されたST上昇型急性心筋梗塞症例において、急性期心電図所見と予後との関係を検討し、重症度評価および予後予測における急性期心電図所見の有用性を明らかにするものである。

2. 研究デザイン

多施設前向きコホート研究

3. 研究期間

解析期間: 倫理委員会承認より1年6ヶ月間

(対象患者の登録については既に本研究(E-12)にて2005年1月~2007年12月に終了。)

4. 対象

CREDO-Kyoto Cohort II Registry 登録症例(2005年1月~2007年12月)のうち、PCIを施行されたST上昇型急性心筋梗塞症例で、急性期の12誘導心電図が入手可能な症例

5. 症例数 約600例

6. 評価項目

急性期心電図所見(登録時心電図及びPCI後心電図)と臨床的背景及び予後との関係を評価する。

具体的には、Main studyにおける調査項目に含まれる死亡、心筋梗塞といった臨床評価項目に対して、下記に示す心電図指標の与える影響に関して検討する。

- ・ Q波の有無と発症からPCIまでの時間(0-2h, 2h-4h, 4h<)の組み合わせによるリスクの層別化
- ・ QRSスコアのの違いでのリスクの層別化
- ・ ST elevation resolutionの違いによるリスクの層別化
- ・ ST depression resolutionの違いによるリスクの層別化
- ・ V1誘導でのST上昇と予後の関連
- ・ aVR誘導でのST上昇と予後の関連

7. データ管理

心電図解析センター

本研究における心電図解析を目的に京都大学循環器内科内に心電図解析センターを設ける。

心電図解析センター

京都大学循環器内科

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町54

電話: 075-751-4254 Fax: 075-751-3289

データ管理

データ管理上のプライバシーの保護や情報開示に関しては、CREDO-Kyoto コホートII全体で定められたものに準じる。具体的には、患者氏名はイニシャルに変換し、各患者のカルテ番号に代わる番号として、当該施設において、登録症例に患者識別コードを付す。